

【用 語 解 説】

	用 語	解 説
あ	i - S i z e	自動車先進地域であるヨーロッパの国際経済委員会 が制定したチャイルドシート最新安全基準のこと。今 までの安全基準から、数多くの安全体策をより強化し た規格。
	開かずの踏切	ピーク時1時間あたりの踏切遮断時間が40分以上の 踏切道
	アクセス道路	都市の施設に至るための道路、また、高速道路と一 般道路を結ぶ道路
	安全性優良事業所（Gマーク 認定事業所）	貨物自動車輸送事業安全性評価事業により、優良な 事業所として認定された貨物自動車運送事業所
い	E T C 2. 0	道路側のアンテナである ITS スポットと高速・大容 量、双方向通信によって受けることのできる世界初の 路車協調システムによる運転支援サービス
	イベントデータレコーダー （E D R）	（Event Data Recorder） エアバッグ等が作動するような事故において、事故 前後の車両の運動データや運転者の操作等を記録する ために、自動車の製造時に車体に組み込まれた装置
う	運転経歴証明書制度	高齢等の理由により運転免許証を自主返納した者に 対し、本人の申請により運転免許証に代わる本人確認 書類として、氏名、住所、申請取消した免許証番号等 を記載した運転経歴証明書を交付する制度
	運輸安全マネジメント	運輸事業者において、自らが輸送の安全の取組みを 推進し、構築した安全管理体制を「計画の策定」、 「実行」、「チェック」及び「改善」のサイクルによ り継続的に改善し、安全性の向上を図る経営管理
え	映像記録型ドライブレコ ーダー	車両に装備され交通事故などによる衝撃を感知し、 前後十数秒の映像等を自動的に記録する装置
	A S V 装置	衝突被害軽減ブレーキ等先進技術を利用した安全運 転支援装置（システム）
	エスコートゾーン	横断歩道を利用する視覚障害者に対し、安全で利便 性を高めるために、横断歩行の手がかりとする突起体 の列

お	大型遮断装置	通常の2倍程度の太さにした棒を使用し、遮断かんの視認性向上をはかるための装置
	オーバーハング型警報装置	踏切道におけるせん光灯が車道の上空に設置されているもの
か	貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク事業）	貨物自動車運送事業者の優良な事業所を認定する事業、認定ステッカーに「G」と書かれていることから「Gマーク事業」と呼ばれる
	環状交差点	交差点の形状の一つで中央に円形地帯を設け、車はその外周を一方向に回って進行方向を変える。進入する車よりも交差点内の車の走行が優先される。
	環状道路	道路形態の一種で、とある場所を中心として輪っか状に作られた道路
き	疑似点灯	電球式の信号灯器に朝日や夕日などの太陽光が当たることで、あたかも他の信号灯器の灯色が点灯しているように見える現象
	狭さく	車両の低速走行等を促すため部分的に極端に狭くした道路
	キロポスト（地点標）	通常、起点から一定間隔で設置され、起点からの距離を示す、ポール状や立て札状の施設。道路管理者が道路の管理を行うにあたり、路面上の地点を正確に把握するとともに道路利用者の利便性向上等のために設置するもの。
	緊急交通路	大規模災害が発生した場合に、被災地域内への緊急自動車などの通行を確保するため、災害対策基本法第76条第1項に基づき、県公安委員会が、高速道路及び幹線道路を中心に指定するもの
	緊急輸送道路	災害発生後、救助・救急・医療・消火活動を迅速に行うため、また、被災者に緊急物資を供給するため、道路状況や防災拠点等をもとに、県があらかじめ定めるもの
く	クランク	車両の低速走行等を促すためジグザグにした道路
け	型式指定制度	自動車メーカーが新車を生産する場合、あらかじめ国土交通省に申請又は届け出を行い、保安基準への適合性について受ける制度
こ	高機能舗装	雨天時のスリップ事故等を防ぐため、路面の排水性を向上させた舗装で騒音の低減効果も有する。

公共車両優先システム (PTPS)	(Public Transportation Priority Systems) バス等の公共輸送車両を対象として、優先信号制御を行い、優先通行を確保することにより、運行の定時性及び利便性の向上を図ることにより、マイカーから公共輸送機関への利用転換の促進を図るシステム
高視認性区画線	夜間や雨天時における視認性の確保や、居眠りや脇見による車線逸脱の防止のために、ライン上にリブ部（突起）を設置したり、通常よりも再帰反射効果の高いビーズを使用したりする区画線
交通結節点	異なる交通手段または同じ交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。具体的な施設としては、鉄道駅、バスターミナル、駅前広場やバス交通広場、歩道等
交通安全活動推進センター	交通の安全に関する広報活動など行っている、道路交通法第108条の31により公安委員会から指定された法人。兵庫県では財団法人兵庫県交通安全協会が指定を受けている。
交通事故紛争処理センター	交通事故の関係者の利益の公正な保護を図るため、交通事故に関する紛争の適正な処理と公共の福祉を目的に全国に11か所の拠点を持って活動しているセンター。近畿では大阪に支部がある。
交通需要マネジメント (TDM)	(Transportation Demand Management) 都市または地域レベルの道路交通混雑の緩和を道路利用者の時間の変更、経路の変更、手段の変更、自動車の効率的利用、発生源の調整など、交通需要量を調整することによって行う手法の体系
交通政策基本計画	交通政策基本法に基づき、過疎・高齢化、グローバル化、環境重視、巨大災害などに対応した総合的・計画的な交通サービスの提供を国、自治体、運輸事業者、国民等に求める計画
交通労働災害防止のためのガイドライン	労働安全衛生関係法令、自動車運転者の労働時間等の改善のための基準等とあいまって、交通労働災害の防止を図ることを目的とした指針

	高度道路交通システム (ITS)	(Intelligent Transport Systems) 最先端の情報通信技術等を用いて人と道路と車両とを一体として構築することにより、交通管理の最適化等を図り、道路交通の安全性、輸送効率、快適性の飛躍的向上を実現するとともに、渋滞の軽減等の交通の円滑化を通し環境保全に大きく寄与する等、真に豊で活力ある国民生活の実現に資するシステム
	コンピュータ・マッピング・システム	紙の図面で管理していた情報をコンピュータ上で重ね合わせたデータで管理するシステム（姫路市では「姫路市工事情報システム」を構築）
	コンプライアンス	法令や社会通念を守ること
し	視距	ドライバーが道路上で見通すことができる距離
	自転車運転者講習制度	改正道路交通法に伴い、平成27年6月1日に施行された危険な交通違反（信号無視等14類型）を繰り返す自転車の運転者（3年以内に2回以上検挙された者）に課す安全講習制度
	自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例	自転車の交通安全対策を目的とし、県民運動としての取り組み、交通安全教育の充実、自転車の安全適正利用、保険加入の義務化、環境の整備等を定めた兵庫県の条例
	自転車レーン	自動車道路において自転車のみが通行できる通行帯であり、車道とは白色の区画線や路面の着色（青色）などで視覚的に区分されたもの
	自動運転	「自動運転化レベル」としてレベル0～レベル5までの6段階の区分がある。レベル3以上から特定の条件下であるが全ての運転操作が自動化され、運転操作主体がシステムとなる。
	自動起動型信号機電源付加装置	地震や災害を含めた停電時に、主要交差点の信号機の機能を停止させないために自動的に発動機が作動し、電源を確保する装置
	自動車アセスメント情報	現在市販されている自動車の性能について、様々な試験により評価を行った結果の情報

自動体外式除細動器 (AED)	(Automated External Defibrillator) 心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電氣的なショック (除細動) を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器
自動列車停止装置 (ATS)	(Automatic Train Stop) 信号に応じて、自動的に列車を減速又は停止させる装置
シートベルトコンビンサー	トラックの荷台部分に設置された座席に乗り、時速約5km程度の衝突を体験し、シートベルト着用の効果を実際に体験することができる模擬衝突体験車。
昇降装置付立体横断施設	横断歩道橋あるいは地下横断通路のように、道路・鉄道等を横断して設けられる横断者の安全を確保するための立体横断施設に、バリアフリー対策としてエレベーターを設けた施設
情報通信技術 (ICT)	(Information and Communications Technology) 情報処理及び情報通信、つまりコンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称
新交通管理システム (UTMS)	(Universal Traffic Management Systems) 光ビーコンを用いた個々の車両と交通管制システムとの双方向通信等の高度な情報通信技術の活用等により、運転者に対してリアルタイムの交通情報を提供するとともに、安全運転支援、緊急時対応、人の移動、物流の効率化を含めた交通流の積極的管理を行い、道路交通の安全・円滑及び交通公害の防止を図り、「安全・快適にして環境負荷の低い交通社会」の実現を目指すシステム
信号情報活用運転支援システム (TSPS)	(Traffic Signal Prediction Systems) 光ビーコンから収集できる信号情報と、車の位置や速度の情報を用いて対応車載機が交通状況や運転シーンに応じた適正な速度や情報の提供を行うシステム

す	スクリーニング検査	選別検査、ふるい分け検査とも呼ばれ、多くの人々が集まって構成される職場、地域、学校などの健常者集団や、新生児・妊婦・高齢者などの各集団等に対する「集団検診」と「個人に行う検診」等の検査
せ	先進安全自動車 (ASV)	(Advanced Safety Vehicle) 先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車
そ	ゾーン30	自動車事故抑止のため、市街地の住宅街など生活道路が密集する区域(ゾーン)を指定し、その区域(ゾーン)での車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制
ち	地理情報システム	山や川などの地形情報、道路や道路付帯物などの行政情報、ライフラインなどの施設情報等を地図上に表現して分析するシステム
て	デジタル式運行記録計	運行記録計の一種で車両の運行に係る速度・時間等が自動的にメモリーカード等に記録され、ドライバーが法定速度、休憩時間などを遵守しているか容易に確認でき、事故防止等の安全管理に用いる装置
と	道路交通情報通信システム (VICS)	(Vehicle Information and Communication System) 光ビーコンを活用して、道路利用者へ交通情報等を提供するシステム
に	日弁連交通事故相談センター	弁護士が無料で公正・中立の立場で相談をうける公益財団法人。自動車により交通事故の民事上の法律問題に関して、電話相談、面接相談、示談あっせん・審査の各事業を行っている。
	日本司法支援センター	法による紛争の解決に必要な情報やサービスの提供が受けられる社会を実現するための独立行政法人に準じた法人。日常生活におけるさまざまな悩みに対する問合せに対応する窓口「法テラス」を運営
	認定こども園	就学前の子供に教育と保育を一体的に提供するほか、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設

は	パーク&ライド、パーク&バスライド	交通混雑緩和のため、自動車を都市郊外の駐車場に駐車し（パーク）、鉄道、バス等の公共交通機関に乗り換え（ライド）、目的地に入るシステム。自動車からバスへ乗り換える場合をパーク&バスライド
	バリアフリー	高齢者、障害者などが社会生活をしていく上での物理的、制度的、心理的及び情報面での障害を除去するという考え方。公共交通機関のバリアフリー化とは、高齢者や障害者などが公共交通機関を円滑に利用できるようにすること
	バリアフリー法	正式名称は「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（平成18年法律第91号）高齢者、障害者全般に、建物、交通機関の移動の円滑化を図るため、旧ハートビル法と旧交通バリアフリー法を統合した法律
	バリアフリー対応型信号機	15センチメートル程度の反射シートを巻き付けた視覚障害者の方が持つ白杖に、センサーが自動的に感知し、スピーカーから歩行者用信号機の状態を音声で知らせる信号機
	反射測定機器（クイックアーム）	「モグラたたき」様の機械で両腕を同時に動かす動作を行い、実年齢に対して俊敏性の年齢が測れる測定機器
	ハンドルキーパー運動	全日本交通安全協会が推進する「自動車仲間と飲食店などに行く場合、仲間同士や飲食店の協力を得て飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人は酒を飲まず、仲間を安全に自宅まで送り届ける」という運動
	ハンプ	車両の低速走行等を促すため道路に設ける盛り上がり（凸部）のこと
ひ	光ビーコン	通過車両を感知して交通量等を測定するとともに、カーナビゲーション装置等と交通管制センターとの情報のやりとりをする路上設置型の赤外線通信装置
	ビッグデータ	ボリュームが膨大であるとともに、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群

	P D C A サイクル	行動プロセスの枠組みの一つで、P l a n (計画)、D o (実行)、C h e c k (確認)、A c t i o n (行動) の4つで構成
	姫路市障害福祉推進計画	「障害のある人もない人も、共に、自分らしく生き生きとした人生を送ることができる社会（共生社会）づくり」の基本理念を踏まえた障害者福祉に関する施策
	姫路市総合交通計画	将来のまちづくりの方向を見据えた交通体系を構築し、公共交通を中心とした総合的な交通計画（令和3年7月策定）
	姫路市通学路交通安全プログラム	通学路の安全確保のため、平成26年4月に策定 通学路の要対策箇所に対し、学校や教育委員会、道路管理者、警察、保護者、地元住民等が合同点検し、それぞれの関係者が必要な対策を行うもの
	兵庫DMAT	(Disaster Medical Assistance Team) 医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ち専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム
ふ	踏切すっきり安心プラン	踏切による渋滞の解消や歩行者の安全確保等をを図るため、「歩道が狭く危険な踏切」を含め、「踏切内車両閉じ込め事故の再発防止」や「通学路の安全確保」など新たな社会的要請に対応した対策の計画
	踏切道 第1種踏切道 第2種踏切道	自動踏切遮断機を設置するか又は踏切保安係を配置して、踏切道を通過するすべての列車又は車両に対し、遮断機を閉じ道路を遮断する踏切道（終発の列車から始発の列車までの時間内に踏切道を通過する車両に対し、遮断しない場合があるものを含む） 踏切保安係を配置して、踏切道を通過する一定時間内における列車又は車両に対し、遮断機を閉じ道路を遮断する踏切道（現在設置されているものはない）

	第3種踏切道 第4種踏切道	警報機が設置されているが、遮断機が設置されていない踏切道 遮断機も警報機も設置されていない踏切道
	フレックスタイム制	一定の期間についてあらかじめ定められた総労働時間帯数の範囲内で、労働者が日々の始業時刻と終業時刻、労働時間を自ら決定できる労働時間制度。
ほ	歩行者等支援情報通信システム（P I C S）	（Pedestrian Information and Communication Systems） 高齢者、身体障害者等が携帯する端末装置と信号機に併設した通信装置との双方向通信により、信号機の表示等を音声で知らせたり、歩行者用青信号の延長を行ったりして、安全で快適な交差点の通行を支援するシステム 高度化P I C Sは、専用端末ではなくスマートフォン
ま	マネジメントサイクル	計画を立て、実行し、結果を振り返り、次の仕事に生かすための一連の事業サイクル
め	メディカルコントロール	医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を確保すること
ゆ	ユニバーサル社会づくり推進地区	ユニバーサル社会づくりに率先して取り組む市町の区域で、市町からの申し出に基づき県が指定する地区。県は推進地区に対して、事業プランの策定経費や協議会活動への補助等の支援を行う
ら	ライフサイクルコスト	製品や構造物などに係る費用を、調達・製造～使用～廃棄・処分に至るまでの段階をトータルとして考えた費用